



びわ湖の宝石「ビワマス」



ビワマスの生態

5月 ※撮影場所：姉川上流



稚魚が元気に泳いでいるね。どこにいるかさがしてみよう。体のもよみとくちょうがあるね。



滋賀県の人々が川をきれいにしたり、稚魚の放流事業をさかんにおこなったりしたおかげで、ここ数年でいろんな川でビワマスの遡上が見られるようになったんだ。

11月 ※撮影場所：愛知川上流



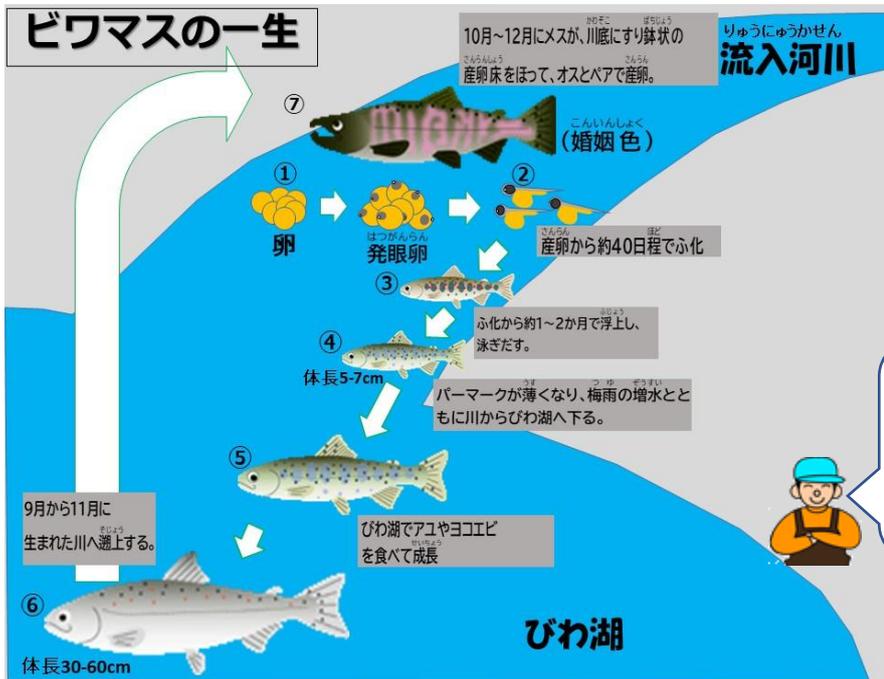
産卵期のビワマスは、川を遡上してくるんだね。



ヨコエビやスジエビをたくさん食べるから、身がサーモンピンクになるんだって。



ビワマスの一生



生活ステージ	時期(月)	体長(cm)	生活場所	食べ物
①卵	10月～12月	約0.6cm	産卵床(川底の石のすき間)	
②仔魚※赤ちゃん	12月～2月	2.5cm	産卵床(川底の石のすき間)	(腹にある袋の中に卵黄が入っている)
③稚魚	2月～4月	3cm～4cm	流れのゆるい岸辺の草かげ	主に陸上の昆虫(ユスリカの成虫)など
④稚魚	5月～7月	5cm～7cm	流れが速い川の中心	主に水中の昆虫(ユスリカの幼虫、カゲロウの幼虫)など

川が増水した時にびわ湖へ

⑤稚魚～未成魚	1歳未満	20cm以下	深さ15m～20mの湖中	主にアナンデルヨコエビなど
⑥成魚	1歳～5歳	～約60cm		主にアユなど

産卵のために川へ ※びわ湖では、1年～5年間過ごす。

⑦産卵期	10月～12月	30cm以上		
------	---------	--------	--	--

産卵後に一生を終える

(資料提供：滋賀県水産試験場)

ビワマス漁



(ビワマス漁の様子)



(刺網の水の中での様子)

夏でも水温15℃前後に保たれる、水深15m～20m付近の冷たいところに網を仕掛けて獲る。刺網漁業(小系網漁)

※網の大きさ
たて約10m×横約30m

毎年、10月1日～11月30日が採捕禁止期間に定められている。

※ビワマスの産卵期間のため。

ビワマス料理



(ビワマスをさばく様子)



(刺身)

ビワマスの旬は、6月～9月上旬。鮮やかなサーモンピンク色が特徴。「琵琶湖八珍」の一つとして知られている。アユなどを食べて脂ののった魚体は、刺身や塩焼きなど格別なおいしさ。



(塩焼き)